



Research Office Newsletter



Message from the Director of the Ritsumeikan Center for Asia Pacific Studies

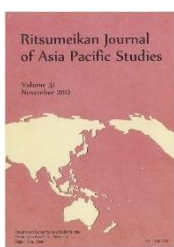


皆様

2019年4月から立命館アジア太平洋研究センター長を務めている山形辰史です。私はアジア太平洋学部の教員で、開発学入門や開発経済学を教えています。2000年に1年間、バングラデシュに住んでいたことがあり、バングラデシュ経済、中でもバングラデシュのアパレル産業の貧困削減効果について研究しています。その他、国際協力、障害と開発、保健と開発も研究しています。



立命館アジア太平洋研究センターはRCAPS(Ritsumeikan Center for Asia Pacific Studies)として知られています。副センター長はMichael Cortez先生(国際経営学部)です。RCAPS事務局はリサーチ・オフィスの中に置かれています。RCAPSの役割は、APUの教員の研究成果を発信することです。その手段の1つ目は、年に一度、アジア太平洋カンファレンスを開催することです。このカンファレンスはアジア太平洋を中心とする世界の事象について議論する学術集会です。最近では2019年11月30日(土)~12月1日(日)に開催しました。テーマは「Governance in the Asia Pacific: Politics, Economics, Business and Environment」とし、国内外の研究者や学生350人が集いました。APUの教員、学生、卒業生も発表しましたが、フィリピンやタイ、マレーシア、バングラデシュ、台湾などからこのカンファレンスのために来日した研究者、学生もいました。次回は「Asia Pacific and Beyond: A Pursuit for Inclusion and Innovation(アジア太平洋の彼方へ：誰も取り残さない革新的社会を目指して)[仮]」と題し、2020年11月14日(土)~15日(日)に開催する予定です。皆様奮ってご参加ください。



Ritsumeikan
Journal of Asia
Pacific Studies
(RCAPSジャーナル)

APUの教員の研究成果発信の2つ目の手段は学術雑誌の出版です。現在APUには2冊の学術雑誌があります。一つは『Ritsumeikan Journal of Asia Pacific Studies』で、いま一つは『APU言語研究論叢』(APU Journal of Language Research)です。前者はRCAPS Journalとも呼ばれ、Cortez副センター長をManaging Editor、私がChief Editorとして編集しています。『APU言語研究論叢』は言語教育センター内に置かれた編集委員会が編集を行っています。いずれもAPUおよび学校法人立命館を中心とするコミュニティの学術雑誌として、同コミュニティの学術研究を向上させることを目的にしています。RCAPS Journalに関しては、過去のいずれかのアジア太平洋カンファレンスに参加して発表した方はこのコミュニティの一員と見なし、立命館以外に所属していても投稿資格を与えています。両誌ともに、科学技術振興機構(Japan Science and Technology Agency: JST)が運営する電子ジャーナル・プラットフォームであるJ-Stageに収録されることが決まっています。

APU言語研究論叢
(APLJ)



3つ目の活動は、Current Research Seminar(学内教員中心)、Onigiri Seminar(外部講師への手当、交通費、当日の軽食を用意)の運営です。研究発表をしたい方、外部から講師を呼びたい方はRCAPS(rcaps@apu.ac.jp)にお知らせください。それ以外の活動については、またの機会にお知らせします。是非RCAPSをご活用ください。スタッフ一同、待っています!!



Marian Beise-Zee 教授による
Current Research Seminar
(2019年1月)

立命館アジア太平洋研究センター長
山形 辰史



デ・ラ・サール大学
Renato Cruz De Castro氏による基調講演

第17回 アジア太平洋カンファレンスは、デ・ラ・サール大学国際関係学部で教授を務めるRenato Cruz De Castro氏による基調講演とともに開幕しました。今回のテーマは「アジア太平洋におけるガバナンス：政治、経済、ビジネス、環境」で、*44のパネルの中で世界60の教育・研究機関に所属する研究者と39名のAPU教員が研究発表を行いました。

(*文部科学省による私立大学研究ブランディング事業に採択され設立されたインクルーシブ・リーダーシップセンターの特別セッションパネル2件を含む)



ベストペーパーアワードの受賞者
Asha Chadhaさん (GSA)

また、大学院生対象のベストペーパーアワードも行われアジア太平洋研究科博士前期課程で吉松 秀孝教授の指導を受けるAsha Chadhaさんが受賞しました。論文タイトルは「India's foreign policy towards Japan: Strategic partnership amid regional transformations」で2020年3月に発行されるRCAPSジャーナルに掲載予定です。

第18回APカンファレンスは、表面にも記載の通り、11月14日(土)～11月15日(日)に行われます。次回のテーマは「Asia Pacific and Beyond: A Pursuit for Inclusion and Innovation[仮]」です。今後のスケジュールは下記の通りです。皆様ぜひご参加ください。

<スケジュール>

- 2020年3月25日 発表者募集開始(5月31日まで)
- 2020年6月 審査
- 2020年7月中旬 審査結果通知

RCAPS Seminars

2019年度秋セメスターは立命館アジア太平洋センター(RCAPS)によって、4つのセミナーが開催され、教員だけでなく、学生や職員も聴講者として参加しました。

Seminar Title: Wildlife Tourism in the Asia-Pacific
Seminar Chair: Associate Professor Thomas E. Jones
Speaker: Dr. Ronda Green (Chair, Wildlife Tourism Australia)

Seminar Title: Static and Dynamic Duality and Dynamic Factor Demand Model in Korea Industry
Seminar Chair: Professor Kim Sangho

Seminar Title: Integrating disaster risk reduction and climate change adaptation: filling the financial gap toward a resilient society
Seminar Chair: Assistant Professor Oscar A. Gomez
Speaker: Dr. Mikio Ishiwatari (Senior Advisor, Japan International Cooperation Agency)

Seminar Title: Reconstruction of the alliance between the US and Japan during economic growth in post-conflict
Seminar Chair: Professor Seiichi Fujii
Speaker: Dr. Nasrine Azimi (Senior Advisor, United Nations Institute for Training and Research)



Nasrine Azimi 博士



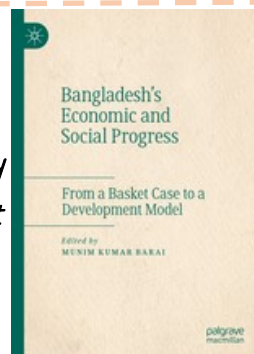
Mikio Ishiwatari 博士

Publications

Munim Kumar Barai 教授

"Bangladesh's Economic and Social Progress: From a Basket Case to a Development Model"

(Palgrave Macmillan 社)



出版、おめでとうございます！

出版情報は(ropa@apu.ac.jp)まで。

RCAPSセミナーの詳細は、QR codeよりご覧ください。



APUの研究情報は、Research Office Facebook Pageで配信しております！